

第2期愛媛県子どもの体力・運動能力向上推進3か年計画

1 策定の趣旨と基本方針

○ 策定の趣旨

本県では、「愛媛県教育振興に関する大綱（令和元～4年度）」において、読書習慣や食習慣、運動習慣などの望ましい生活習慣を確立し、子どもたちの豊かな人間性や健康・体力など、社会で生きる力を育むことを目指している。

県教育委員会では、平成30年度より、市町教育委員会や学校等とともに体力向上に係る様々な取組を行ってきた。しかし、コロナ禍において運動の機会の減少、スクリーンタイムの増加など、子どもの生活環境が一変する現状を踏まえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指し、第2期計画を策定する。

○ 基本方針

- ・ 体育・保健体育科の授業を充実させることを基本に、児童生徒の運動の日常化に向けた取組の充実を目指す。
- ・ データを活用し指導に生かすとともに、全教職員が共通理解のもと体育的行事、体育的活動の充実を目指す。
- ・ 家庭、地域のスポーツ関係団体やスポーツクラブ等と連携し体力向上が図られるよう、行政機関や教育機関との連携を密にし、支援体制の充実を目指す。

2 目標と成果指標・えひめの子ども像

○ 目標

学校体育の質の保証・向上

～体育的活動を充実し、全国平均以上の体力を維持～

○ 成果指標

全国体力・運動能力等調査における、体力合計点の県平均が全国平均以上である。

○ えひめの子ども像〔愛顔（えがお）いっぱい子ども〕※各指標の数値以上を目指す。

◆運動に前向きになる（体育・保健体育科の授業）

- ・ 体育の授業は「楽しい・やや楽しい」の児童・生徒の割合・・・95%

◆体力向上を目指す（自己への挑戦）

- ・ 体力の向上について自分なりの目標を立てている児童・生徒の割合・・・80%

◆日常的に運動に取り組む（運動習慣）

- ・ 1日の運動時間60分以上の児童・生徒の割合・・・50%（小）、80%（中）

※体育・保健体育科の授業は除く

◆規則正しい生活習慣をもつ（生活習慣）

- ・ 毎日朝食を食べる児童・生徒の割合・・・80%
- ・ 睡眠時間が確保されている児童・生徒の割合・・・80%

3 計画の期間

令和4年度から令和6年度までの3か年の取組とする。

4 全体構想

目標：学校体育の質の保証・向上

～体育的活動を充実し、全国平均以上の体力を維持～

【成果指標】

- ・全国体力・運動能力等調査における、体力合計点の県平均が全国平均以上である。
- えひめ子ども像〔愛顔（えがお）いっぱい子ども〕
 - ◆運動に前向きになる（体育・保健体育科の授業）
 - ・体育の授業は「楽しい・やや楽しい」の児童・生徒の割合・・・95%
 - ◆体力向上を目指す（自己への挑戦）
 - ・体力の向上について自分なりの目標を立てている児童・生徒の割合・・・80%
 - ◆日常的に運動に取り組む（運動習慣）
 - ・1日の運動時間60分以上の児童・生徒の割合・・・50%（小）、80%（中）
 - ※体育・保健体育科の授業は除く
 - ◆規則正しい生活習慣をもつ（生活習慣）
 - ・毎日朝食を食べる・睡眠時間が確保されている児童・生徒の割合・・・80%

児童生徒の運動の日常化に向けた取組の充実

全教職員が共通理解のもと体育的行事、体育的活動の充実

	方 策	対 応
新たな取組	○新体力テストに対する意識の高揚	○目標の設定、測定の方法、推進体制について研修会の開催
	○地域の特色を生かした体力向上の推進	○体力アップ推進計画の実践好事例集の作成と提示
	○各市町の現状の把握と、課題の認識	○各地区関係団体と連携した取組の充実
継続した取組	○各校での推進体制	○体力アップ推進計画の作成
	○教員の指導力向上	○子どもの体力向上指導者実技研修会での実技研修
	○授業以外での運動する「場」の設定	○「えひめ子どもスポーツITスタジアム」参加への啓発

検証改善サイクルの継続

工夫しながら運動をする習慣の定着

行政機関や教育機関との連携（学校・家庭・地域・県教委・市教委・大学）

〈本県児童生徒の体力の現状〉（令和3年度）

- 本県の今年度の新体力テストの体力合計点は、令和元年度と比べ、小中男女とも、全国平均が低下する中、県平均も下がったものの、全国平均との差はほとんど変化がみられなかった。
- 調査項目別では、敏捷性（反復横とび）、持久力（20mシャトルランなど）が全国平均を上回っている。筋力（握力）、柔軟性（長座体前屈）、投運動（ソフトボール投げなど）は全国平均を下回っているものの、柔軟性については、今年度、中2男子において過去最高値を記録した。

愛媛県 体カアップ年間スケジュール

実態把握 <before>

Check 1

1 新体カテストの実施

- 測定については、児童生徒が目標を持ち、測定のねらいや手順を理解した上で行うよう配慮する。(・力を最大限に出す工夫・前年度の記録の確認・雰囲気づくり・目標を設定)

※ 子どもたちの力を最大限発揮できるような時期を設定する。

スポーツ庁の締め切り: **7月末日**

目標と計画

Plan

2 計画の策定

- 体カテストの測定結果を基に、各校の重点目標を設定する。
 - ①「各校の重点目標に対する施策」
 - ②「家庭・地域との連携」「学校行事の工夫」等
 - ③「食育・睡眠時間・スクリーンタイムに対する取組」等
- 重点目標とそれ以外の取組を計画する。

「計画書」締め切り: **9月中旬**

小学4年、中学1年は、
1・2月中に中間期測定を実施。

次年度へ

運動の継続 (3月~7月)

Check 2

成果と課題

5 実践報告

Action

- 「各校の重点目標に対する施策」「家庭・地域との連携」「学校行事の工夫」等について、報告と検証を行う。

※ 別紙③の見本を基に、報告書を作成、提出

「報告書」の締め切り: **2月末日**

中間期測定 <after>

4 再測定

- 生徒が目標を持って運動に取り組めるよう、自校の課題に絞って1・2項目程度を再測定する。(小・中学校)

具体的施策

Do

3 運動の日常化

- 運動の日常化に向けた場の設定
 - 授業での主運動につながるウォームアップの工夫
 - 家庭・地域と連携した取組や学校行事の実施
- ※ 各校の実態に応じた工夫のある取組を!

6 実施方針と具体的な取組

○ 実施方針

県教委、各市町教委、小中学校は関係諸機関と連携し、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。また、各校の特色や地域の特性を生かした体力向上に向けた環境づくりを工夫しながら更なる体力向上への取組を推進し、学校体育における体育的活動を充実し学校体育の質の保証・向上を実現する。

○ 具体的な取組

	県の取組	市町・学校の取組
体育・保健体育科の授業	<ul style="list-style-type: none"> ◆新学習指導要領に対応した実践事例の作成・提供 ◆運動遊びについての研修会の実施 ◆体力アップ推進計画の実践好事例集の作成と提示 ◆子どもの体力向上指導者実技研修会での実技研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善及び研修の充実 ■小学校低学年でのACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）の活用 ■各校の特色や地域の特性を生かした推進計画の作成 ■体育・保健体育科の授業での主運動につながるウォームアップの工夫
自己への挑戦に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ◆各地区の現状を把握し、情報の提供 ◆体力アップ推進計画策定への指導・助言 ◆大学や学校関係者による体力向上の取組に関する検証 	<ul style="list-style-type: none"> ■各地区関係団体の好事例を参考に、地域・児童生徒の特性に応じた取組の充実 ■体力アップ推進計画の立案・修正と運動機会の確保のための環境づくりの工夫 ■体力向上の取組に関する検証
運動習慣について	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標の設定、測定の方法、推進体制について研修会の開催 ◆「えひめ子どもスポーツITスタジアム」の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ■各校での体力アップ推進の啓発 ■コロナ禍における「えひめ子どもスポーツITスタジアム（エブリディスポーツ）」の積極的な活用
生活習慣について	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域・家庭と連携した食育に関する啓発資料の提示 ◆大学や学校関係者による食育・生活習慣の定着に向けた取組に関する検証 	<ul style="list-style-type: none"> ■食育・生活習慣の質の向上に向けた学校行事の充実 ■感染症予防の正しい理解と生活習慣の質の向上に向けた取組に関する検証